

## 令和3年度議会による行政評価結果について

令和3年度泉佐野市議会行財政委員会では、当委員会において選定した施策について、委員全員の評価と意見を取りまとめ、調査と議論の結果、下記のとおり議会による評価を決定し、令和4年度以降の事業と予算についての対応を期待する。

記

**施策名** 「森林保全」

**施策の方向性** 「拡 充」

評価集約

施 策	拡充	現状維持	縮小
森林保全	6	3	0
施策を構成する事務事業	拡充	現状維持	縮小
林業振興対策事業	4	5	0
林道維持管理事業	6	3	0

意見集約

昨今の土砂災害、洪水災害の根本は自然界のバランスが崩壊しつつあることが原因であり、SDGsの観点も加味して、林業振興による森林保全が災害対策上、喫緊の課題である、との共通認識を委員会として有する。

森林環境譲与税等の財源を活用しながら、間伐等を積極的に推進できるよう、振興協議会をはじめ産官学民連携で、森林保有者との合意形成を図りながら、新たな財源創出も含めた対策に当たるべきである。

改正公共建築物等木材利用促進法の動向にも注目し、域内における林業のマーケット拡大を図りながら、林業従事者の確保・育成にも注力することで、林業振興に努め、持続可能な森林経営を実現し、自然との共生によって防災・減災の先進都市をめざすべきである。

施策名 「漁業振興」

施策の方向性 「現状維持」

評価集約

施 策	拡充	現状維持	縮小
漁業振興	2	7	0
施策を構成する事務事業	拡充	現状維持	縮小
漁業振興事業	2	7	0

意見集約

2048年問題を見据え、SDGsの観点で魚庭（なにわ）の海を取り戻すための海洋環境の改善策を図りながら、広域的なつくり育てる漁業の推進を図ることで水産資源の保全・漁業振興を図る必要がある。

漁業組合をはじめ、大阪府並びに関西エアポート株式会社等との産官学民協働で、次世代が漁業・魚食に関心を寄せられるような取組の継続と創出、マーケットにおける魚食への新たな付加価値の創出、日本遺産のストーリーを活用したブランディング、青空市場や道の駅構想等の販路確保で、漁業振興を図るべきである。

施策名 「下水道整備の推進」

施策の方向性 「拡 充」

評価集約

施 策	拡充	現状維持	縮小
下水道整備の推進	6	3	0
施策を構成する事務事業	拡充	現状維持	縮小
排水施設管理事業	5	4	0

意見集約

下水道普及率を向上させることはもちろん、昨今の想定外の水害に備える為の水路の整備と計画策定、新たなハザードマップの策定が喫緊の課題である。

安心安全の確保をはじめ、生活環境の改善を図り、定住人口の増加をめざす為にも、普通会計からの繰出の増額等を行い、整備計画の前倒しを行う必要がある。

防災・減災を図る為にも、町会、土地改良区、消防団等とも密なる連携を図りながら水路の整備計画やハザードマップの策定を行い、それを活用した市民の意識を向上させられる取組を実施すべきである。